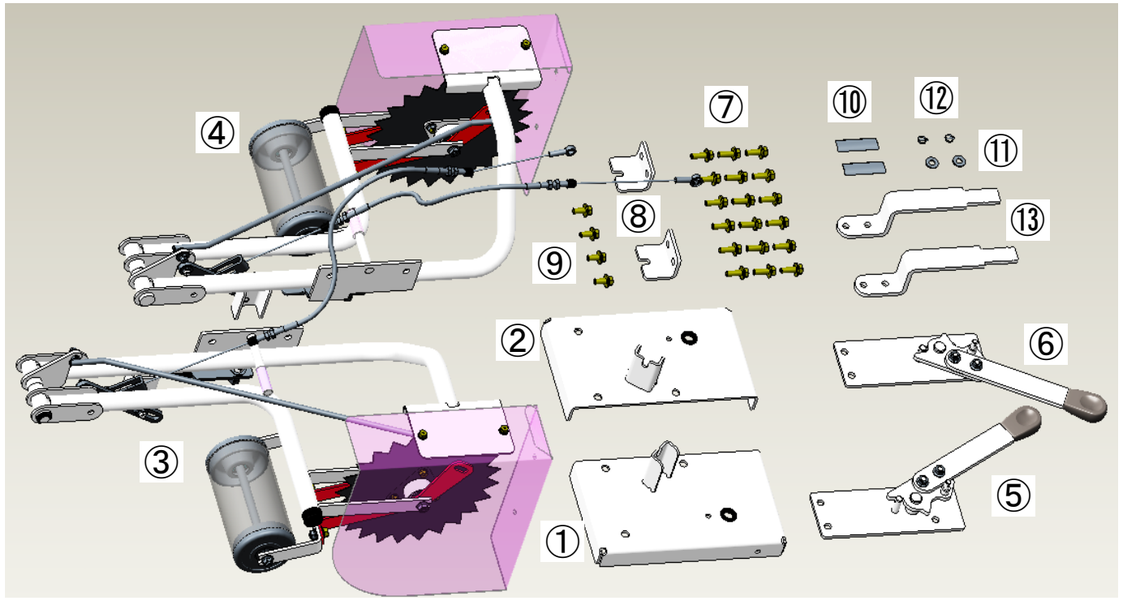
# 条合せカッター(JK-KE60) 取付・取扱要領書

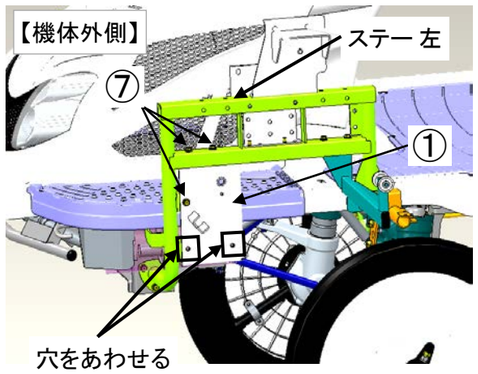
No.2645 9055 001

梱包内容

| No. | 部品名称 | 部品番号 | 個数 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ① | ブラケット左 | | 1 | |
| ② | ブラケット右 | | 1 | |
| ③ | 条合せカッター左ASSY | | 1 | |
| ④ | 条合せカッター右ASSY | | 1 | |
| ⑤ | レバー左ASSY | | 1 | |
| ⑥ | レバー右ASSY | | 1 | |
| ⑦ | ボルト | H154 0108 025 | 18 | |
| ⑧ | プレート | 2645 9012 BM0 | 2 | |
| ⑨ | ボルト | H154 0108 020 | 4 | |
| ⑩ | マーク | 2645 9025 000 | 2 | |
| ⑪ | ワッシャ | 0350 0140 818 | 2 | |
| ⑫ | 割りピン | 0520 0125 016 | 2 | |
| ⑬ | プレート | 2645 9051 BM0 | 2 | スーパーフードと共着する時のみ使用します |

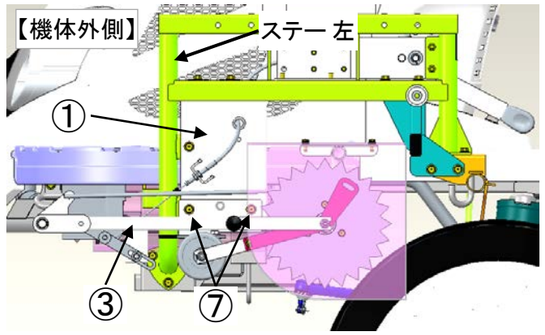


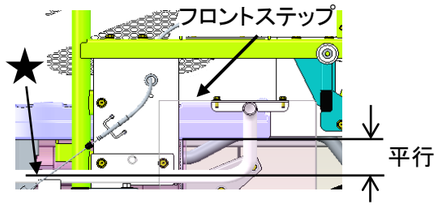

## 条合せカッター取付要領




1) ① ブラケット左 を ⑦ ボルト 3個で、□ 部の取付穴(2箇所)が ステー左 の取付座に合うよう取付けます。

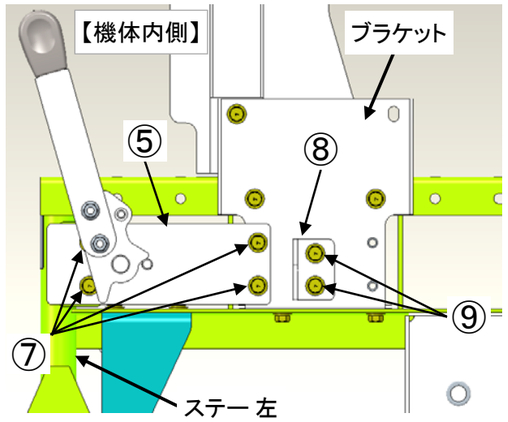




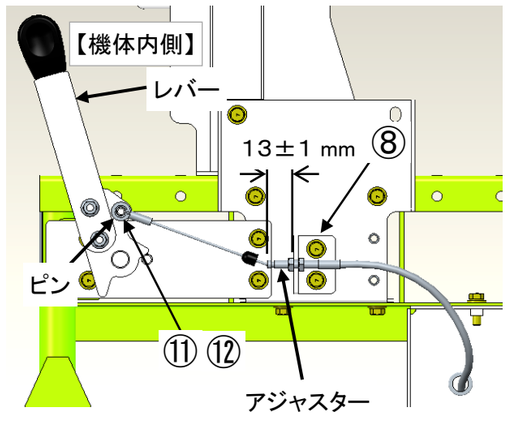



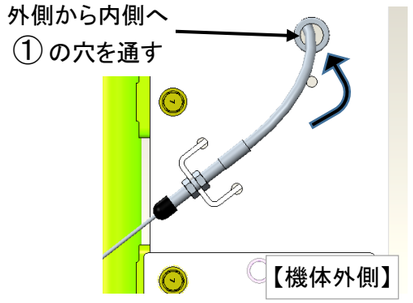

2) ③ 条合せカッター左ASSYの固定パイプ(★ 印)が側面から見て機体のフロントステップ下面と平行になるよう ① ブラケット左と一緒に ⑦ ボルト 2個でステー左に取付けます。

【注意】
・カッター刃でケガ をしないように注意してください。



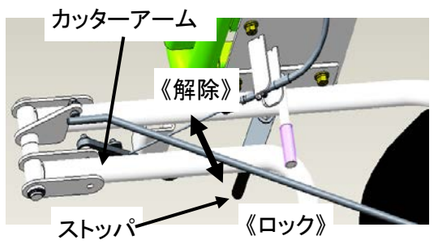

3) ⑤ レバー左ASSY を、⑦ ボルト 4個で、ステー左とブラケットに取付けます。
⑧プレートを、⑨ボルト 2個で、ブラケットに取付けます。



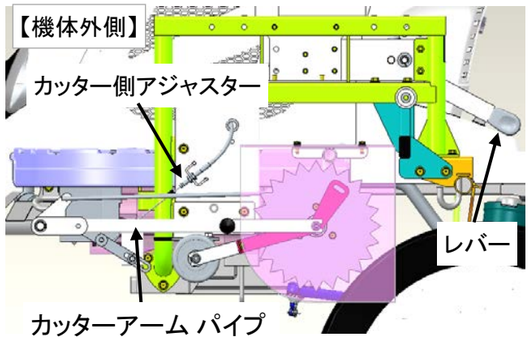




4) ワイヤーは、機体の外側から機体の内側へ、
① ブラケット左の穴を通し、レバーを動かしてレバーのピンに差し込み、⑪ ワッシャと ⑫ 割りピンで固定します。
⑫ 割りピンは、両曲げしてください。

5) ワイヤーは、アジャスター先端と ⑧ プレートとの寸法が13±1 mmになるよう、アジャスターを固定します。

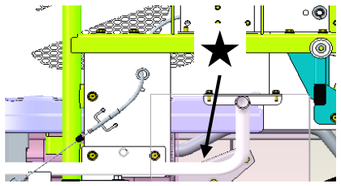


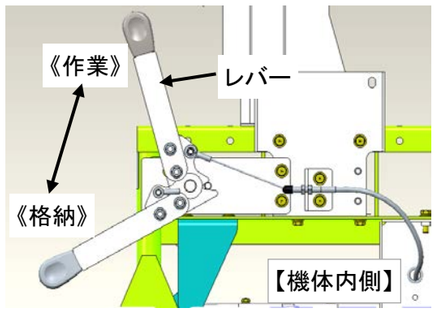

6) カッターアームのストッパを《ロック》位置にしておきます。



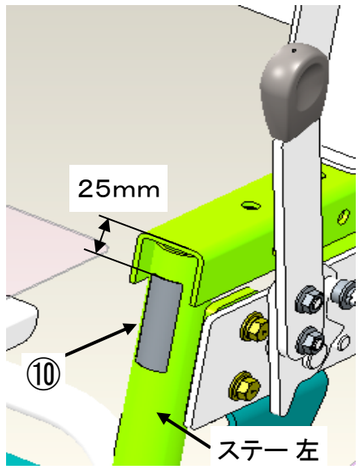

7) レバーを《格納》位置にし、カッターアームのパイプと固定パイプ(★ 印)が、機体側面から見て平行になるようカッター側のアジャスターで調整し、アジャスターを固定します。

※レバー側のアジャスターは調整しません。






8) カッターが降下する地面付近に、段ボールまたは毛布等を敷きます。カッターアームのストッパを《解除》し、レバー操作して、カッターがスムーズに上下するか、レバーが格納位置で止まるかを確認します。

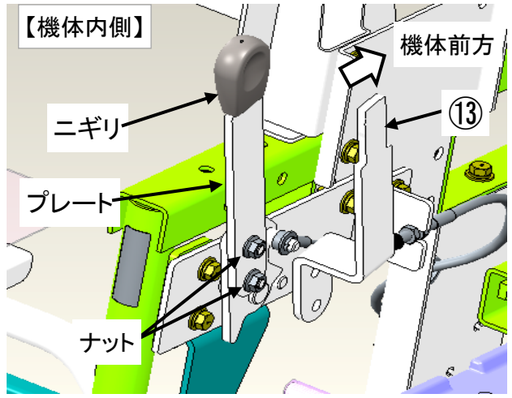



9) ⑩ マークは、レバー横のステー左のパイプ中心に、上面から25mm の位置に、文字が読める向きに貼り付けます。
（上方が《作業》 下方が《格納》です）

10) 条合せカッター右側も同様に取付けます。



## 《条合せカッターと、スーパーフード(SF-LE60)を共着する場合》

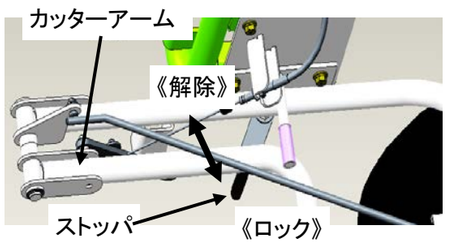


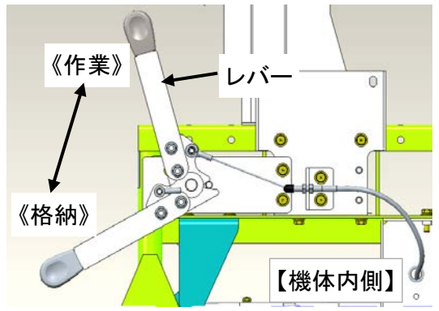

◎条合せカッターとスーパーフード(SF-LE60)を共着する場合は、レバー プレートを交換してください。

手順
1) レバーのニギリを取り外します。
2) ナット 2個を緩め、レバーのプレートを ⑬ プレートに交換します。
3) レバーの穴ガタを機体前方に取りながら、ナット2個で固定します。
4) 最初に取り外したニギリを取り付けます。
5) 右側も同様に交換します。

## 条 合 せ カ ッ タ ー 取 扱 要 領

1) 作業前に、カッターアームのストッパを《解除》します。




2) 田植機が、紙切断位置に来たら、レバーを《作業》位置にし、カッターを田面に降ろします。
そのまま前進し、紙を切断します。

3) 1行程作業が終わったら、レバーを《格納》位置にし、カッターを持ち上げます。

4) 作業が終わったら、必ずストッパを《ロック》位置にして、カッターアームが不意に降下するのを防止します。

**【 注 意 】** ※実際の使用に際しては、以下の点に留意してください。

●レバー操作は、周囲の安全を確認してから操作してください。

●レバー操作は、ニギリ を持ってゆっくりと操作してください。

●条合せカッターを使用して切断した圃場内の紙マルチは、必ず取り除いてください。
残したまま作業を続けると、植付部前方に切断後の紙がたまり、植付不良の原因になることがあります。

●条合せカッターを使用した後は、回行する前に必ずカッターを格納してください。
カッターを降ろしたままで回行すると、破損する恐れがあります。

●後進する際は、必ずカッターを格納してください。

●機械を移動する時は、周囲の物と接触しないよう十分注意してください。

●田植機のステップ上での移動や機械への乗り降りの際には、レバーに引っかからないよう、足元には十分注意してください。